



ほうぎ しょういち
法木 昭一
市民連合
(75分)

**障がい者プランの
基本方針などは**

問 ①障がい者プランを策定中だが、財政状況の厳しい中で施策を進めるための基本方針は。②当事者から出される要望、具体的課題に対し、どのような検討をしているか。

答 ①厳しい財政事情にあつて

も、障がいのある人が地域で安心して暮らせるよう、必要な財源を確保し効果的な施策展開に努める。②電話リレーサービスについては内容や登録方法等の周知に努める。無人駅については、障がい者団体、JR西日本、本市が連携して安全の確保に取り組む。

暗所視支援眼鏡は、日常生活用具費支給事業の対象品目に取り入れるよう準備をしている。家庭内で人工透析をしている人への補助は、在宅で医療的ケアをされている方々の実態を踏まえ判断していく。



いけがみ ふみお
池上 文夫
市民連合
(75分)

高齢者等のごみ出し支援を

問 日々のごみ出しが困難な高齢者、障がい者が増えている。支援策の検討は。

答 市民アンケートでは約8割が「高齢者のごみ出しを支援する取り組み」が重要、やや重要と答えた。ニーズ調査などを行い、障がい者も含めた支援策を検討する。

教育格差への取り組みは

問 ネット環境のない家庭もある中、オンラインの進行により教育格差が生じる懸念がある。全ての児童生徒にタブレットを貸与する方針だが、対応は。また、格差是正に向けた考えは。

答 通信環境がない家庭には、ワークシートや電話などを使って同等の学習が行えるようにする。分かる過程を通して学びが面白いと実感する「子ども主体の学び」づくりが格差是正になると考える。



たかぎ たけし
高木 武志
日本共産党
(65分)

学生支援の拡充を

問 ①ふるさと福山学生応援パックの対象を市外在住の学生等へ拡大して再度実施すること。②修学支援制度の対象要件の拡大を国に求めること。

答 ①コロナ禍で帰省を自粛せざるを得ない学生の支援を目的に対象を県外在住としたものである。



みやし たけし
三好 剛史
日本共産党
(65分)

飲食店支援の充実を

問 東京商工リサーチのアンケート調査で県内企業の84.5%が忘年会や新年会を開催しない予定と回答した。飲食業界には大きな打撃であり、事業継続のため直接支援策が必要では。

答 感染症対策設備導入などの直接支援を実施してきた。また、

②高等教育の修学支援新制度は、対象が拡充されており、さらなる拡充を求める考えはない。

自衛官による出前防災講座は

問 講座について中学校等へ通知しているが、その根拠は。今後は周知しないよう求める。

答 県教育委員会から周知するよう通知があり、中学校と福山高等学校に通知した。自衛官からじかに話を聞くことは、災害をより身近に捉え、自らの命を守る行動につながるものと考えている。

駅北口広場の土地交換見直しを

問 市長は10月の記者会見でJR西日本との福山駅南北土地交換はゼロベースとの認識を明らかにした。方針の転換であり土地交換の必要はないのでは。

答 JR西日本から、先に締結した協定の再協議の申し入れがあった。3月末を期限にJR西日本はより良い計画を新たに策定し協議を行うこととしている。